自分と向き合い、
浮かんだことを
書いてみよう。

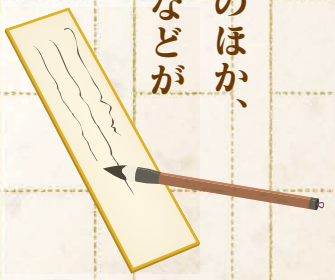
第32回 武蔵野文学賞

芥川賞作家 三田誠広、町田康のほか、
数多くの受賞歴がある歌人・俳人などが
選考委員を務めます

高校生部門

応募期間 2024年7月1日(月)
～2024年8月31日(土)

➡ 応募は下記QRコードから



応募概要

小説部門

応募規定
400字詰め原稿用紙20～50枚(20字×400～1,000行)程度
ジャンル・テーマ不問
作品の結末を明示した「梗概」を200字程度で付けること。

賞・副賞
▶最優秀賞1篇(副賞 5万円)
▶審査員特別賞1篇(副賞 3万円)
▶優秀賞2篇以内(副賞 各1万円)

俳句部門

応募規定
①1句単独の部
②複数句の部
10～20句程度で構成された一連の作品
必ず題名を付けること。無題は不可。

賞・副賞
①1句単独の部
▶最優秀賞1句(副賞 1万円)
▶優秀賞2句以内(副賞 図書カード各3千円)
▶佳作5～10句程度(副賞 なし)
②複数句の部
▶最優秀賞1篇(副賞 3万円)
▶優秀賞2篇以内(副賞 図書カード各5千円)

詩部門

応募規定
20～60行程度の詩作品
必ず題名を付けること。1行あたりの字数は問いません。

賞・副賞
▶最優秀賞1篇(副賞 1万円)
▶優秀賞2篇以内(副賞 図書カード各3千円)

土岐善麿短歌

※短歌部門は、本学文学部の初代主任教授である
歌人・土岐善麿にちなみ「土岐善麿短歌賞」として設定されます。

応募規定
①1首単独の部
②連作の部
10～20首程度で構成された一連の作品
必ず題名をつけること。無題は不可。

賞・副賞
①1首単独の部
▶最優秀賞1首(副賞 1万円)
▶優秀賞2首以内(副賞 図書カード各3千円)
▶佳作5～10首程度(副賞 なし)
②連作の部
▶最優秀賞1篇(副賞 3万円)
▶優秀賞2篇以内(副賞 図書カード各5千円)

評論部門

応募規定
以下①、②ともに400字詰め原稿用紙10～25枚
(20字×200～500行)程度
①武蔵野の部
「武蔵野」という言葉が登場する作品についての評論。
②自由の部
日本語・日本文学、日本文化に関する評論。
ただし、具体的な事象・作品・人物などをとりあげて、
客観的・論理的に記述すること。

賞・副賞
▶最優秀賞1篇(副賞 5万円)
▶審査員特別賞1篇(副賞 3万円)
▶優秀賞2篇以内(副賞 各1万円)

応募資格 高校生・大学受験生
※全国高等学校及びそれに準ずる学校に在学中の方(高等学校卒業程度認定試験合格者も含む)　※複数の部門または部への応募可

発表 2024年11月中旬
本学ホームページにて発表

授賞式 2024年12月中旬(予定)
オンラインにて実施

ご応募はこちらから

お問い合わせ
武蔵野大学　入試センター
TEL　03-5530-7300
Eメール　nyushi@musashino-u.ac.jp

※学校単位での応募や郵送での応募をご希望の方は武蔵野大学 入試センターまでお問い合わせください

選考委員

小説部門

三田 誠広（みた まさひろ）

（作家・本学 名誉教授）

生きづらい世の中です。そうであっても、いきなりファンタジーに逃げないでください。目の前の現実をしっかりと見つめて、その現実を乗り越えていく新たな冒険物語でもいいし、やむなく現実から逃避していく悲しい物語でもいいのですが、出発点となる現実がきっちりと描かれていれば、作品は安定します。いまの時代の高校生が見つめる現実。それはまだ誰も書いていない、新しい文学です。そのような新鮮な文学を期待しています。

小説部門

町田 康（まちだ こう）

（作家・本学 教授）

小説に決まりはなく、
おもしろければなにをどう書こうと
かまいません。
思いを自由に羽ばたかせて
物語ってみてください。

俳句部門

井上 弘美（いのうえ ひろみ）

（俳人）

高校生を対象とする武蔵野文学賞【俳句部門】では、1句単独での応募に加えて、複数の俳句で構成された作品を募集しています。何れも、全ての入賞作品に丁寧な選評、鑑賞文を付して作品集に掲載します。作品は、どういう言葉で評価されるかが大切で、それが作者には励みになり、次の可能性へと繋がるのです。
本部門では選考委員一同、高校生の皆さんの清新な作品をお待ちしています。

土岐善麿短歌

林 あまり（はやし）

（歌人・本学 講師）

短歌は、なんにもいりません。砂に指で書いても短歌はできます。紙に書けば、賞に応募もできます。
日々の生活で思ったままを書いてもよいし、壮大な作り話を書いてもいいのです。私は主人公とお話を考えてつくるタイプです。
皆さまのご応募をお待ちしております!

詩部門

撮影：神藤 剛

文月 悠光（ふづき ゆみ）

（詩人・本学 客員准教授）

自由詩には厳格なルールはありません。極論、語り手は人でなくても構わないのです。身近な道具、動物、空や海などから視点を借りて自由に語りはじめることができます。その自由さが詩の魅力です。
自分以外の何者かになりきることで解き放たれる。あるいは言葉によって自分自身に向き合い、小さな「気づき」を得る。
世界が少し違って見えてくるでしょう。
あなたが心から「これこそが自分の詩だ」と言えるような、そんな力強い作品をお待ちしています。

西本 照真

（本学 学長）

宮川 健郎

（作家・本学 名誉教授）

土屋 忍

（本学 教授）

楊逸

（作家・本学 客員教授）

三浦 一朗

（本学 教授）

堀切 克洋

（俳人・本学 教授）

寺井 龍哉

（歌人・本学 講師）

河路 由佳

（歌人・本学 日本文学研究所研究員）

横山 未来子

（歌人）

※応募要項の内容を事前によくご確認・ご了承の上、ご応募ください。詳細は本学ホームページをご覧ください。

響き合って、未来へ。

MUSASHINO 100 UNIVERSITY 1924 - 2024

世界の幸せを力タチにする。
Creating Peace & Happiness for the World

Musashino University
武蔵野大学

・日本文学文化学科
・ウェルビーイング学科
・教育学科
・幼児教育学科
・人間科学科
・社会福祉学科
・サステナビリティ学科
・数理工学科
・建築デザイン学科
・データサイエンス学科
・アントレプレナーシップ学科
・法律学科
・政治学科
・経済学科
・経営学科
・会計ガバナンス学科
・グローバルコミュニケーション学科
・日本語コミュニケーション学科
・グローバルビジネス学科
・薬学科
・看護学科